

令和元年度

学校だより

7月 



令和元年 6月27日 7月号 (第522号)

横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4698






<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

すこやかスマイル すずんで考え行動し きょうかし合う すずきっ子

ONCE IN A LIFETIME

副校長 三村太郎

今年9月から日本でラグビーワールドカップが行われます。各小学校にラグビーボールも寄贈していただき、その機運も高まってきています。大会のキャッチコピーは「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」です。昨年度もサッカーのワールドカップがあり、グループリーグの国について記載しましたが、今年も日本が入る「プールA」の国について調べました。

国	アイルランド (Ireland)	スコットランド (Scotland)	ロシア連邦 (Russian Federation)	サモア (Independent State of Samoa)	日本 (Japan)
国旗					
首都	ダブリン	エディンバラ	モスクワ	アピア	東京
人口	476万人	525万人	1億4,680万人	20万人	1億2000万人
面積	70,300平方km (北海道より一回り小さい程度)	78,772平方km (北海道程度)	1,710万平方km (日本の45倍)	2,830平方km (東京都の約1.3倍)	378,000平方km
学校の仕組み	初等教育が8年間あり、日本の中学・高校にあたる中等教育が6年間ある。初等教育と、中等教育の前期(約15歳まで)は義務教育である。放課後には、スポーツや音楽などの趣味に没頭することが多く、特にホッケー、サッカー、バスケットボールを練習する生徒が多い。日本とは違い塾に通う生徒は少ない。	3歳から幼稚園に通う。子どもの送迎は国で義務付けられている。小学校は、日本より1年早く5歳から始まり7年間までで卒業する年齢は11歳。親、もしくは祖父母などが、朝は9時前に学校へ連れていき、夕方15時に迎えに行くのが日常。車で送迎する人も多いため、学校の付近は送迎ラッシュになる。	初等・中等教育は6歳から始まり、多くは4年・5年・2年の11年制をとる小中高一貫校。普通学校のほか、特定科目をより深く教育するギムナジウムやリツェイといった学校がある。近年ロシアでは教育に対する関心が高まっており、子どもの創造性や自主性を伸ばすことを学校に期待している。	義務教育は5歳～13歳までであるいは初等学校修了までとされている。飛び級・留年制があるため修了年限と年齢が一致しない。成績上位者は政府管轄の中等・高等学校及びミッション系有名校に入学が許可される。教科書・文房具は政府が負担するものの、学校施設の改善など運営は地域の住民組織に任される。	初等教育6年間、中学校3年、高等教育、大学に続く。すすき野小学校では「すこやかスマイル すずんで行動し きょうかし合う すずきっ子」を学校教育目標として掲げ、今日も元気に活動中!
いろいろ	アイルランド料理の主食はジャガイモとパン。ジャガイモは日本と異なり主食。「フィッシュアンドチップス」は、チップスに自身魚のフリッターをセットにしたもの。	様々な「メイド・イン・スコットランド」がある。NHK連続テレビ小説「マッサン」に登場する「スコッチウイスキー」は、その代表格。他にも、卒業式などで歌われる「蛍の光」は、もともとはスコットランド民謡である。	伝統的にライ麦から作られる黒パンが食べられている。広大な国土を有するロシアには多数の民族が暮らしていて多様な食文化や地方料理がある。代表的な家庭料理にはボルシチやカーシャ、カツレットなどがある。	南太平洋のポリネシアにある島国。日付変更線の近くに位置しているため、世界で日の出を1番早く見ることが出来るエリアとしても知られている。	ユーラシア大陸の東側にある島国。はっきりした四季がありそれぞれの季節で特徴がある。標高最高点は富士山頂の3,776m。本州は世界で7番目に大きな島である。

外務省HP:「KIDS 外務省~地球に生きる君たちへ」を参照しました

大会中は応援のために各国の人々が日本を訪れます。日本を知ってもらいたい良い機会でもありますし、わたしたちが世界中のさまざまな人々と関わり合える良い機会でもあります。児童の皆さんにはこの大会を何かしらの良い機会にしてもらいたいと考えています。決勝戦は横浜国際競技場です。桜のエンブレムを身にまとった日本代表を応援しましょう!

さらに来年は東京オリンピックがいよいよ開催されます。一生に一度(Once in lifetime)の機会を大切にしていきたいと思います。



